

会社概要

(2019年6月20日現在)

社名 太洋工業株式会社  
 設立 1960年12月  
 代表者 代表取締役社長 細江 美則  
 資本金 800,757,000円  
 従業員 267名(連結ベース)  
 関連グループ 株式会社ミラック  
 会社 TAIYO TECHNOLEX (THAILAND) CO., LTD.  
 マイクロエンジニアリング株式会社  
 太友(上海)貿易有限公司

役員

(2019年6月20日現在)

代表取締役社長 細江 美則  
 取締役 坂田 吉啓  
 取締役 堀井 健司  
 取締役 上西 令子  
 常勤監査役 崎前 和夫  
 監査役 和中 修二  
 監査役 中川 利彦  
 執行役員 清原 旭  
 執行役員 田中 清孝  
 執行役員 水谷 浩

株式の概要

株式の状況

(2019年6月20日現在)

発行可能株式総数 ----- 23,280,000株  
 発行済株式の総数 ----- 5,872,000株  
 株主数 ----- 2,197名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社細江ホールディングス	1,600	27.3
細江 正大	480	8.2
細江 美則	465	7.9
紀陽興産株式会社	390	6.6
株式会社紀陽銀行	290	4.9
太洋工業従業員持株会	269	4.6
小川 由晃	124	2.1
旭東ホールディングス株式会社	102	1.8
前尾 和男	55	0.9
株式会社南都銀行	50	0.9
第一生命保険株式会社	50	0.9
日本生命保険相互会社	50	0.9

(注) 持株数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示、また持株比率は、自己株式を控除して計算しており、小数第二位を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度 毎年12月21日から翌年12月20日まで  
 期末配当金受領株主確定日 毎年12月20日  
 中間配当金受領株主確定日 毎年 6月20日  
 定時株主総会 毎年 3月20日まで  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 TEL(0120)094-777(通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)  
 (証券コード6663)  
 公 告 の 方 法 電子公告により行います。  
 公告掲載URL  
<http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

TAIYO INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒640-8390 和歌山市有本661番地  
 TEL(073)431-6311(代) FAX(073)432-5469



株主のみなさまへ  
**第59期 株主通信**

2018年12月21日 > 2019年6月20日

第2四半期

## ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は電子基板事業、テストシステム事業及び産機システム事業において販売が減少したことから、前年同四半期に比べ減収となりました。損益は売上総利益率が低下したことや、電子基板事業、テストシステム事業及び産機システム事業における売上高減少に伴う影響により、損失となりました。

また、テストシステム事業及び産機システム事業において米中貿易摩擦の影響による設備投資に対する慎重姿勢が依然として続いていること、産業用ロボットのカスタマイズ製品の仕様確定までに想定以上の時間を要していることにより、第3四半期以降の業績は厳しい状況が想定されることから、通期の業績予想を修正させていただくこととなりました。

第3四半期以降につきましては、FPC(フレキシブルプリント配線板)の極薄化など次世代技術力を追求・アピールしていくことで、新規顧客開拓など効率的に営業活動を推進するとともに、高い収益性が見込める高難度製品等の受注体制の充実・強化に注力してまいります。また、多様化する顧客ニーズに応えた競争力のある検査装置の製品ラインアップの拡充を図り、受注の獲得を目指してまいります。

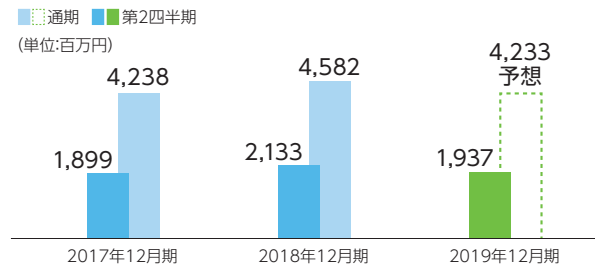
株主の皆様には、今後とも当社グループの事業活動にご期待いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

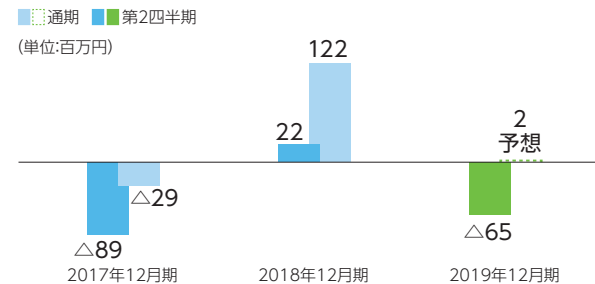
船江 美則



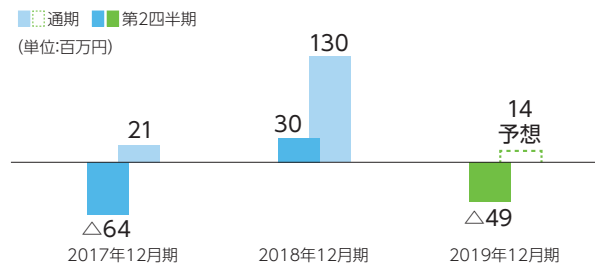
## 売上高



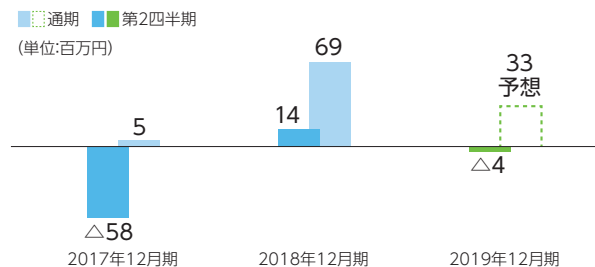
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



## 和歌山から世界へ。

## ソーラーカープロジェクト

当社は、和歌山大学のソーラーカープロジェクトを支援しています。

地元企業として学生の自主的な活動を支援することで地域の人材育成にも貢献し、本年度は、技術支援としてソーラーカーに搭載するセンサー用オリジナルFPCの提供を行いました。

今後も学生との交流を図りながら技術力の向上に取り組んでまいります。

なお、和歌山大学は鈴鹿サーキットで毎年開催されるソーラーカーレースに出場し、2021年開催の世界最高峰のソーラーカーレース「World Solar Challenge」での完走を目指しています。



## 報告セグメントの変更等について

「基板検査機事業」としていたセグメント名称を「テストシステム事業」に、「商社事業」としていたセグメント名称を「産機システム事業」に変更しております。また、「基板検査機事業」に含まれていたメカトロニクス事業については「産機システム事業」に、「検査システム事業」については「テストシステム事業」に含めて記載する方法に変更しております。